現場で活躍するキーパーソン

ネッシン　今村 直亮氏

ネッシン（埼玉県三芳町、今村友亮社長、049・259・0101）は業界最小級の白金測温抵抗素子温度センサーメーカー。同製造分野全般をつかさどる役割を担うのが、製造部マネージャーの今村直亮氏。今や注文の9割が特注品とあって、品質管理には細心の注意を払う。「重要なのは、受注の打ち合わせの段階で、顧客ニーズを的確にくみ取ること」だ。

これらセンサーは、最先端分野で使われるケースが多く「最終用途を教えてもらえないケースが多い」。顧客からの一点一様の要求に応えるべく、材料の選定や組み合わせに知恵を絞る。かつては、半導体業界向け出荷が主だったが「最近では、ロボットやバイオ、超低温分野など次世代技術分野での利用が増えている」。約55人の工場従業員のうち7割が女性で、繊細な加工作業を支える。「チームワークが良くいつも結果を出してくれるのが頼もしい」と今村氏は笑顔。

チームワークで難題克服

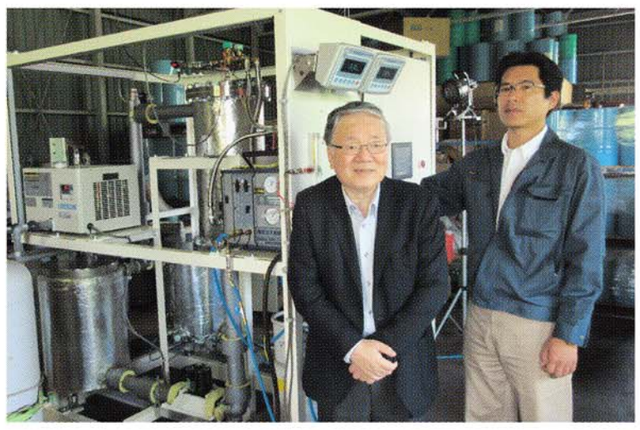
日特エンジニアリング　スチューバー・クリス・アラン氏

日特エンジニアリング（さいたま市南区、近藤進茂社長、048・837・2201）の営業本部に所属するスチューバー・クリス・アラン氏は海外営業として自動巻線機や周辺設備の販売フォローをしている。欧米の顧客を相手に機械の提案から納品まで担当。グローバル化を進める戦力として社内外から高い信頼を得ている。

母国である米国の大学を卒業後、英会話講師を経て2012年に同社に入社。「機械の6−7割を海外に送るので、日本にいながらさまざまな国の人と仕事ができ、人として成長できる」と感じている。開発の考え方や生産方法、国の文化などが異なる海外顧客のニーズの把握は難しい。顧客に合わせた機械を納めるため、社内の関係者や顧客と円滑にコミュニケーションし、考え方のずれがないよう調整を図る。「欧米の市場をもっと把握し、顧客のネットワークを作って日特のグローバル化に拍車をかけたい」と意気込んでいる。

グローバル化推進に貢献

環境総研　柏木 大心氏



環境総研（埼玉県桶川市、山田久俊社長、048・789・2302）はフロンガス破壊再生処理やフロンに関する機器、装置の販売などを主に手がけている。

そのなかで技術部部長を務める柏木大心氏（写真右）は、新しい回収フロンガスの分離装置開発に寄与した。山田社長（写真左）も「原理的にも、まったく新しい分離方法だ。回収フロンから単品ガスを分離できれば成分調整も可能」と大きく期待する。

柏木氏は「私は産業を血流のように考えている。動脈として生産、販売される流れ、静脈のように産業廃棄物となって返ってくる流れ。産業廃棄物処理はその流れの中でどうパイプになり、『廃棄物』ではなく『原料』として扱えるかだ」と産業廃棄物処理を循環的な視点で捉える。開発されたガス分離装置は現在、特許出願中、2015年4月より実証実験を開始している。

『廃棄物』ではなく『原料』として

ハーベス　森岡 弘史氏

ハーベス（さいたま市浦和区、前田知憲社長、048・824・2821）の潤滑剤営業部に所属する係長の森岡弘史氏は光学機器や事務機の重要顧客を担当する。入社8年目、4月からグループリーダーも任されている営業の若きエースだ。

「他の人より経験数が多いかもしれない」。顧客から信頼を勝ち取る→仕事が増える→経験が増える→さらに信頼を得るという〝正のスパイラル〟を続けた結果だ。顧客によりよい解決策を提案できるよう腐心してきた。相手を好きになることも心がけている。好きになると、相手も自然と自分を好きになってくれるという。「相手とのリレーションづくりはかなり自信がある」。その言葉には経験に裏打ちされた力強さがある。

何かが上手くいかなかった際には「自分に原因を求めるようにしている」。他人や環境のせいにすることは簡単だが、自分に厳しくすることで「成長につながる」と確信している。

〝正のスパイラル〟継続

住田光学ガラス　手塚 達也氏

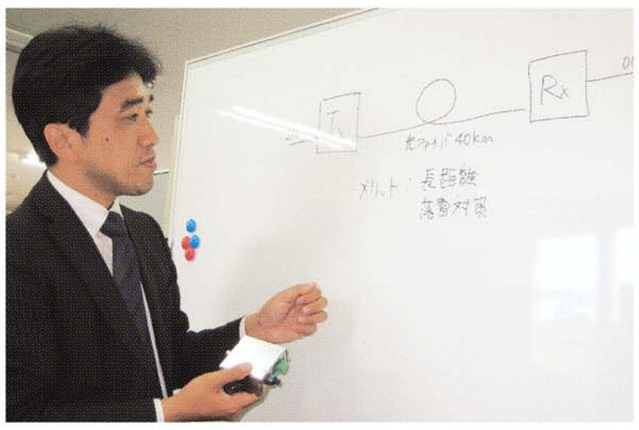
住田光学ガラス（さいたま市浦和区、住田利明社長、048・832・3165）の素材開発部に所属する手塚達也氏は入社7年目ながら成果をいくつも出している。これまでに、従来より軽いカメラ向けのガラスや、目に見えない波長領域のレーザーを可視化させるガラスなどを開発した。

大学では無機材料を学んだが、入社当初はガラスの知識がほとんどなかった。自由な職場環境の中で、自ら進んで論文や特許を読み込み、試行錯誤したところ、次第にアイデアが出るようになった。現在は「違う分野に目を向けても、ガラスと結びつけて考える」。経験と知識が蓄積し、専門家の道を歩んでいる。

「自分が開発したものが世の中に出て、使ってくれる人がいるのは純粋にうれしい」。今後は光学ガラスの開発に軸足を置きつつ、別のテーマとしてエネルギー、環境などの分野で使われる機能性ガラスの開発にも力を入れるつもりだ。

ガラス開発で新たな道

七星科学開発センター　下鳥 有紀等氏



七星科学開発センター（埼玉県狭山市、鈴木芳久社長、04・2950・012）は、光通信機器の製造販売を手がける。同事業部で副センター長を務めるのが下鳥有紀等氏。15年前、大島文彦執行役員開発センター長と2人で事業部を立ち上げた。現在は、主に営業部門を統括するが、もともとは技術部門の出身。顧客との折衝において「技術的な観点から、さまざまな要望に即答できるよう」心がける。

同事業部は、発足以来「需要が後から追いかけて来るような製品を作ろう」と、道なき道を歩んで来た。直近では、今後に国内需要の拡大が見込まれるフル4K非圧縮映像伝送用光通信機や、ビジョンカメラ向けなどにギガイーサネット対応光通信機を市場投入した。

「多い時は、年間で30点以上の新製品を投入する」と話す下鳥氏。光通信機機器を、ユーザーが現場で設置する際の使い勝手にも、細かく心を砕く。

技術者の観点で課題解決

人間社会学部
情報社会学科
●経営システム専攻
●メディア文化専攻
心理学科
●ビジネス心理専攻
●臨床心理専攻

工学部
機械工学科
●機械工学専攻
●ロボティクス専攻
生命環境化学科
●バイオ・環境科学専攻
●応用化学専攻

自分が変わる物語が始まる
情報システム学科
●IT専攻
●電子情報専攻
モバイルサイトで最新情報をGET！

オリジナルキャラクター「フカニャン」

SAIKO 埼玉工業大学
〒369-0293 埼玉県深谷市普済寺1690
お問い合せ 0120-604-606（入試課）
http://www.sit.ac.jp/

東武冶金株式会社
TOBU YAKIN Co.,Ltd.
“熱処理”50年を超える歴史と実績、そして未来へ

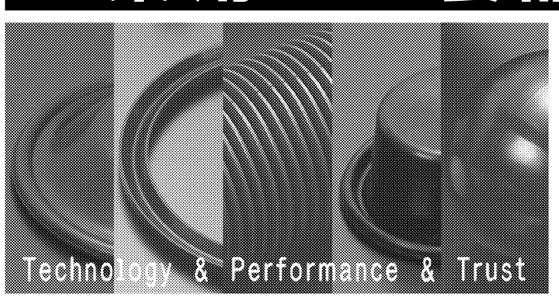
私たち、東武冶金は“熱処理”50年を超えた技術と実績を基にトータルサポーターとして、お客様の様々なニーズにお応えしています。

○焼ならし
○焼なまし
○高周波焼入焼戻し
○調質（油、水、ポリマー焼入焼戻し）
○ガス浸炭窒化焼入焼戻し
○ガス浸炭焼入焼戻し
○無酸化焼入焼戻し
○ガス窒化
○無酸化焼なまし
○無酸化焼ならし
○ガス酸窒化
○ガス軟窒化

本　社
〒331-0822　埼玉県さいたま市北区奈良町48-3
TEL：048-663-4335　FAX：048-663-4337
久喜工場
〒346-0028　埼玉県久喜市河原井町48番地
TEL：0480-23-0985　FAX：0480-22-2025
足利工場
〒326-0004　栃木県足利市樺崎町1950-5
TEL：0284-41-5011　FAX：0284-41-0147
栃木工場
〒328-0067　栃木県栃木市皆川城内町字新町裏2989-1
TEL：0282-30-1225　FAX：0282-31-2838

KHK STOCK GEARS　歯車屋が歯車を創り続けて80年の自信
新カタログ 175品目 15200種！ 3013 無料配布受付中！
GCU歯車組立キット 教育用 組立式 連結可 KAWAGUCHI i-mono 認定製品
軸穴完成品！ Jシリーズ 50品目 10400種！！ 実働2日で完成！
史上最強 浸炭焼入歯研ラックを標準化！ KHK標準歯車として MRGF 新シリーズ
KHK R001 1級
歯面強さはKHK史上最強！
SRG焼入歯研ラックの 約4倍
KRG-H焼入歯研ラックの 約2倍
小原歯車工業株式会社　KHK 検索
本　社　TEL:048-255-4871(代) FAX:048-256-2269

工業用ゴム製品の総合メーカー



●布入りVパッキン
●布入りゴム製品
●ダイヤフラム
●各種オイルシール
●フリーサイズダストシール
●耐圧用パッキン
●バルブ用ゴムボール
●各種水道用ゴム製品
●導電性ゴム製品
●絶縁性ゴム製品
●難燃性ゴム製品
●その他特殊配合ゴム成型品 樹脂成型品の設計製品

高機能材料から汎用材料までお客様のニーズにお応えします。

— 業務内容 —
工業用製品の委託研究・開発業務
新製品開発プロジェクトのマネージメント
ソフトウエアの開発及び販売
各種ゴム及び樹脂製品の設計及び製作
各種金属加工品・各種金属の設計及び製作

金属・基布・PTFEとの複合化を実現する高機能ゴム製品
株式会社 丸一ゴム製作所
ISO9001:2008
本　社　埼玉県吉川市三輪野江1009-1　☎048(982)0483　FAX048(982)0498
工　場　宮城県伊具郡丸森町舘矢間木沼字入谷地68　☎0224(72)1753　FAX0224(72)6849
http://www.maruichirubber.co.jp

N.I.T.
株式会社 マルニット
営業事務所　埼玉県吉川市大字三輪野江1009-1
TEL048(983)3310　FAX048(982)0498
NITマルニット　埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
共同研究センター 日本工業大学内
㈱丸一ゴム製作所・日本工業大学 産学交流 コーディネイト・マッチング